

# 経営評価

## 平成27年度事業

(目次)

- 上下水道局NEWS ..... 1
- 経営戦略と経営評価 ..... 2
- 経営指標評価 ..... 3
- 決算概要 ..... 4
- 取組項目評価 ..... 5~10
- 上下水道局NEWS(続き) ..... 11



平成27年度事業の  
評価結果はどうなっ  
ているのかな？



上下水道局マスコット  
キャラクター  
すみと  
ホテルの澄都くん

料金は何に使われて  
いるのかしら？



上下水道局マスコット  
キャラクター  
ホテルのひかりちゃん

京都市上下水道局 水道使用水量のお知らせ

お客さま番号 999 検針区 99999 水栓番号 99999

下水区分 下水道のみ 戸数 1 呼び径 13mm 検針区 100160

区域内 京都 一郎様 用途 一般 支払方法 口座振替

表示の金額には、消費税及び地方消費税相当額を含みます。

28年度3期ご使用分(6月2日~8月1日)

今回指示数	650m <sup>3</sup>
前回指示数	620m <sup>3</sup>
取替前メーター使用量	m <sup>3</sup>
井戸汚水等排出量	m <sup>3</sup>

今回ご使用水量 34m<sup>3</sup> (月 日)

前年同期使用水量 30m<sup>3</sup>

ご請求予定額 (内訳) 水道料金 4,006円 下水道使用料 6,738円

口座振替割引額 -44円 下水道使用料からの割引額 2,732円

割引後のご請求額 6,650円

「割引後のご請求額」は、右記の請求日にお引き落としさせていただきます。今回口座請求日 28年9月20日

次回検針予定日 10月3日 (天候等により変更する場合があります)

「口座振替割引」をご存知ですか？  
上下水道料金のお支払いには便利でお得な「口座振替」をぜひご利用ください。またクレジットカードでもお支払いいただくことができます。

水道料金等口座振替済のお知らせ(前回検針分)

28年度2期ご使用分(4月2日~6月1日)

振替日	7月19日	水道使用水量	33m <sup>3</sup>	汚水排出量	33m <sup>3</sup>
水道料金	4,580円	下水道使用料	3,098円	口座割引額	-44円
水道料金(口座割引額適用後)	4,536円	下水道使用料(口座割引額適用後)	3,054円		

振替金額 7,590円

検針のお問い合わせ先(業務委託先) TEL 123-4567 FAX 890-1234

検針月日 28年8月1日 検針員 水道 太郎

京都市上下水道局

※上下水道局職員を装った訪問業者にご注意ください※  
(裏面に〇〇〇〇〇からのお知らせがありますので、ご覧ください。)

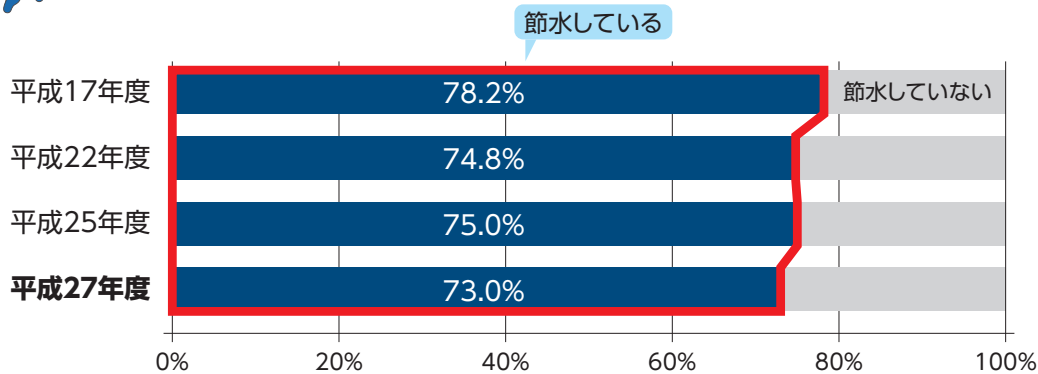
## 平成27年度 水に関する意識調査について

上下水道局では、「京（みやこ）の水ビジョン」において、「皆さまのご要望におこたえし、信頼される事業を展開する」ことを施策目標の一つに掲げ、よりきめ細やかにお客さまの声をお聴きし、事業運営に反映するため、意識調査やアンケートを継続的に実施しており、その一環として、平成28年2月から3月にかけて「水に関する意識調査」※を実施しました。ここでは、本調査の結果の一部を御紹介します。

※ 調査対象：京都市内に在住する満20歳以上の男女5,000名、 調査期間：平成28年2月25日(木)～3月10日(木)  
 調査方法：調査対象者に調査票を郵送により配布・回収、 回収率：44.3%(回収数:2,213通)  
 調査項目：7項目(水に関するライフスタイル、事業全般、サービス等)30問



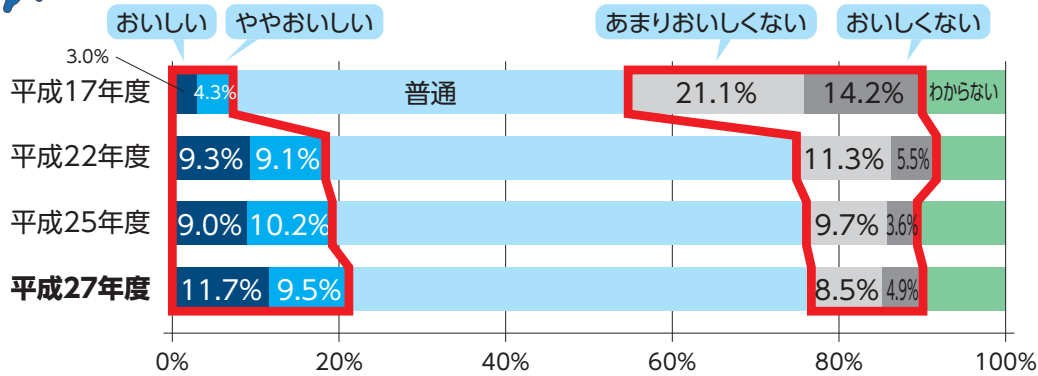
### 節水に関する取組状況について



市民の皆さまの節水に関する意識は73.0%となりました。各年度調査で70%以上と高い傾向にあります。



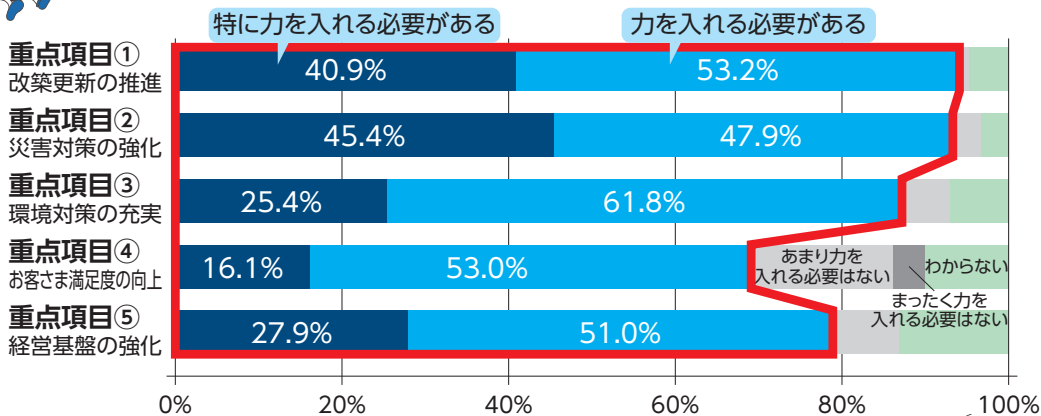
### 水道水の「味」に関する満足度について



「おいしい」と「ややおいしい」は増加し、「あまりおいしくない」と「おいしくない」は減少しており、水道水の「味」に関する満足度は向上しています。



### 中期経営プランの重点項目別の必要性について



市民の皆さまからも中期経営プランに掲げる重点項目に対して力を入れて進める必要があるという声をいただきました。



11ページへ続きます!



# 水道事業・公共下水道事業の経営戦略と経営評価

上下水道局では、平成20年度から平成29年度までに取り組むべき課題や目標を示す「京（みやこ）の水ビジョン」とその具体的な実施計画である「中期経営プラン」に基づき、様々な事業を進めています。

経営評価は、上下水道局経営戦略のPDCAサイクルの一環として、毎年度その事業を振り返り経営指標評価と取組項目評価の2つの方法で評価し、今後の事業運営などに活用しています。

## 経営指標評価

財務面を中心とした客観的な業務指標を用いて、収益性や生産性など7つの区分から水道事業、公共下水道事業の経営状況の評価・分析を行いました。

3ページへ

## 取組項目評価

「中期経営プラン（2013-2017）」に掲げる5つの重点項目と重点項目を構成する取組項目について、進捗状況の点検・評価を行いました。

5ページへ

## 上下水道局経営戦略

### 京（みやこ）の水ビジョン (2008-2017)

「京（みやこ）の水ビジョン」（2008－2017）は平成20年度からの10年間に取り組むべき課題や目標を示した経営戦略です。

ビジョンで掲げた基本理念の下、私たち上下水道局に課せられた社会的な役割や使命を果たしつつ、水道・下水道サービスの質的な向上を図っていくため、「安全・安心」、「環境・暮らし」、「安定・維持向上」、「サービス」、「経営」といったキーワードを基本とする5つの施策目標を掲げ、その達成に向けて22の重点推進施策を設定しています。

#### 基本理念

くらしのなかにはいつも水があります。  
私たち京都市上下水道局は、  
先人から受け継いだ、水道、下水道を守り、育むことにより、  
皆さまのくらしに安らぎと潤いをお届けしたいと考えています。  
そして、ひと まち くらしを支える京の水をあすへつなぎます。



### 中期経営 プラン (2013-2017)



「中期経営プラン（2013－2017）」は、ビジョンの後期5箇年の具体的な実施計画です。プランは、5つの重点項目を中心に93の取組項目を推進する「事業推進計画」、業務の効率化を推進する「第5期効率化推進計画」及び「財政基盤強化計画」の3つの計画で構成されています。

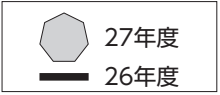
これらの計画に掲げた事業を計画的に推進するとともに、経営評価の実施による執行状況のチェックにより、継続的な業務改善や市民サービスの向上を進めています。

# 経営指標評価

財務指標を中心とした業務指標により、7つの評価区分を用いて経営状況の改善度や中長期的な経営分析を行っています。



26年度を100として改善度を示しています。



## 水道事業

### ① 収益性

100.0



水需要の減少により、水道料金収入は減少しましたが、経営の効率化による支出削減により、黒字決算となりました。

1㎡の水道水をつくるコストは146.0円です。大都市\*平均と比べると、10.9円(6.9%)低コストです。

### ⑦ 費用

100.7



### ② 資産・財務

103.2



当年度純利益の確保などにより、財務体質を強化しました。

1㎡当たりの水道水の平均価格は、166.2円です。大都市\*平均と比べると、2.4円(1.4%)低価格です。

### ⑥ 料金

100.0



### ③ 老朽化

99.3



水道管路の老朽化が進む中、更新率をスピードアップしています。

職員定数を削減し、経営の効率化を図りました。

### ⑤ 生産性

102.5



### ④ 施設の効率性

98.9



水需要の減少が給水量に影響を与えています。

## 公共下水道事業

### ① 収益性

100.7



水道使用以外の汚水量の増加により、下水道使用料収入が増加したことに加え、経営の効率化による支出削減により、黒字決算となりました。

1㎡の下水を処理するのにかかるコストは、102.7円です。大都市\*平均と比べると、26.1円(20.3%)低コストです。

### ⑦ 費用

99.9



### ② 資産・財務

103.5



企業債残高を縮減するなど、財務体質の強化に努めました。

1㎡当たりの下水道使用にかかる平均価格は122.3円です。大都市\*平均と比べると、20.5円(14.4%)低価格です。

### ⑥ 使用料

99.9



### ③ 老朽化

98.9



施設の老朽化が進む中、計画的に更新を進めていきます。

職員定数を削減し、経営の効率化を図りました。

### ⑤ 生産性

106.4



### ④ 施設の効率性

101.2



処理水量の増加等により、施設の稼働率が向上しました。

\*大都市比較は、東京都及び平成27年度における政令指定都市(水道事業では県が主に事業を行う千葉市、相模原市を除く計19都市、下水道事業では計21都市)で比較しました。



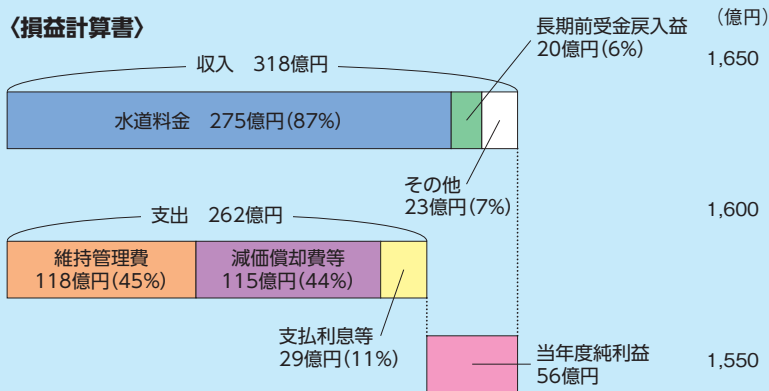
# 水道事業・公共下水道事業の決算概要(平成27年度)

## 水道事業

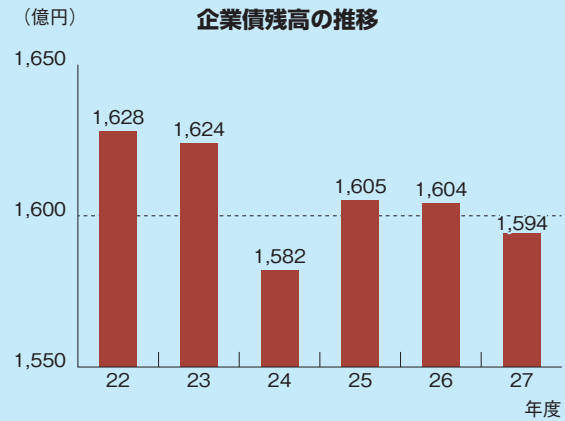
水道料金収入において、節水型社会の定着による水需要の減少により、前年度と比べ0.3パーセント(9,200万円)減少したものの、支出において、職員定数の削減や効率的な運営による費用の抑制に努めた結果、当年度純損益は55億6,900万円の黒字となりました。このうち現金収入を伴わない利益の増分を除いた35億6,500万円を建設改良積立金として、議会の議決を経て、利益処分します。

なお、企業債の残高は、発行額を上回る償還を行ったため、前年度と比べ0.6パーセント減少し、1,594億円となりました。

〈損益計算書〉



企業債残高の推移

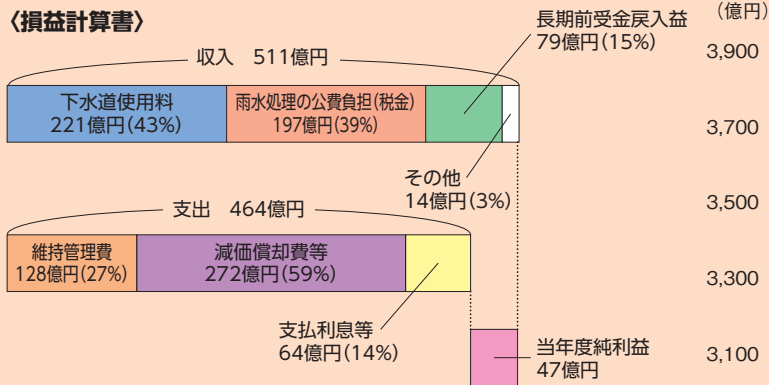


## 公共下水道事業

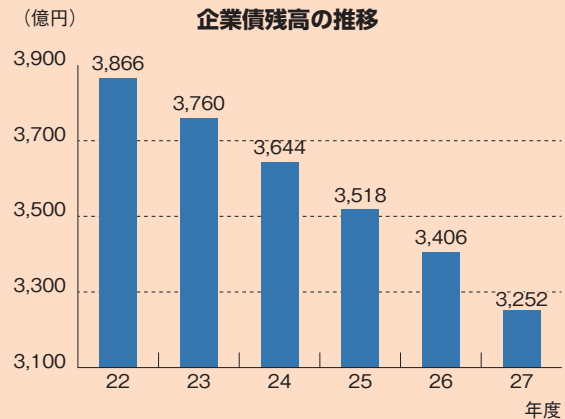
下水道使用料収入において、水道使用以外の汚水量の増加により、前年度と比べ0.3パーセント(7,100万円)増加したことに加え、支出において、職員定数の削減や効率的な運営による費用の抑制に努めた結果、当年度純損益は47億3,200万円の黒字となりました。このうち現金収入を伴わない利益の増分を除いた37億9,500万円を減債積立金として、議会の議決を経て、利益処分します。

なお、企業債の残高は、発行額を上回る償還を行ったため、前年度と比べ4.5パーセント減少し、3,252億円となりました。

〈損益計算書〉



企業債残高の推移




水道事業及び公共下水道事業の財務情報、連結財務諸表等は、上下水道局ホームページに掲載しています。そちらも併せてご覧ください。

●京都市上下水道局トップページ⇒京都市上下水道局の紹介⇒経営情報⇒財務情報

# 取組項目評価

取組項目評価では、各取組における単年度の目標に対する達成度を5段階で評価しました。  
 ここでは、中期経営プランに掲げる重点項目に対する評価結果を御紹介します。  
 道路の下でくらしを支える管路施設の改築更新や雨に強く安心できる浸水対策の推進により、5つの重点項目のうち、3つがA評価、2つがB評価となりました。



評価方法は、

## A

十分に達成  
されている

## B

かなり達成  
されている

## C

そこそこ達成  
されている

## D

あまり達成  
されていない

## E

達成  
されていない

の5段階評価

取組項目ごとの評価結果を点数化（a～eを5～1）し、重点項目別に集約した平均値が、


- 4.6以上 → A評価
- 3.6～4.5 → B評価
- 2.6～3.5 → C評価
- 1.6～2.5 → D評価
- 1.5以下 → E評価

重点項目別の評価は、取組項目ごとの評価結果を集約したものです。

<取組項目ごとの評価基準>

- a**：十分に達成されている（目標値の100%以上達成）
- b**：かなり達成されている（目標値の80%～99%）
- c**：そこそこ達成されている（目標値の50%～79%）
- d**：あまり達成されていない（目標値の30%～49%）
- e**：達成されていない（目標値の29%以下）

<中期経営プランに対する進捗状況>



中期経営プランでの目標標準（平成29年度末）に対する平成27年度末の進捗状況を登都（すみと）くんの表情としくで示しています。

H25
H26
H27
H28
H29

目標以上に達成している。

H25
H26
H27
H28
H29

順調に進捗している。

H25
H26
H27
H28
H29

少し遅れている。

## 中期経営プラン(2013-2017)に掲げる5つの重点項目

- 重点項目①
改築更新の推進

6ページ
- 重点項目②
災害対策の強化

7ページ
- 重点項目③
環境対策の充実

8ページ
- 重点項目④
お客さま満足度の向上

9ページ
- 重点項目⑤
経営基盤の強化

10ページ

# 重点項目① 改築更新の推進

27年度の  
単年度評価

**B**

配水管更新率等の数値目標を達成するとともに、京北地域水道<sup>\*1</sup>及び大原地域水道の再整備についてもほぼ計画どおり実施できましたが、その他一部の工事に遅れが生じたため、B評価となりました。

## ① 道路の下でくらしを支える管路施設の改築更新

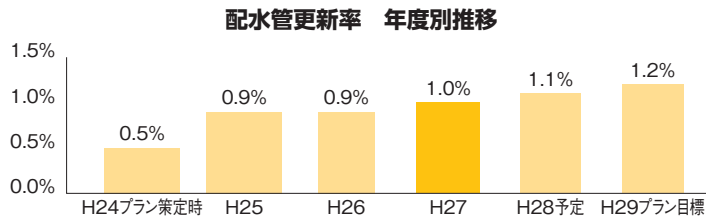
### 27年度の主な実績

#### ●水道配水管の更新の推進

- ・配水管の更新率 1.0% (目標 1.0%)、配水管及び補助配水管<sup>\*2</sup>の布設替工事の実施 **a**

#### ●下水道管路施設の計画的な点検・改築更新

- ・下水道管路地震対策率 76.9% (目標 76.9%)、経年管老朽化対策工事の実施、管路地震対策工事の実施 など **b**



配水管更新率 (%)

$$= \frac{\text{更新された配水管延長}}{\text{配水管の総延長}} \times 100$$

プランでは平成29年度までに更新率を段階的に引き上げ1.2%に、その後、1.5%以上を目指すこととしています。

## ② 基幹施設の機能維持・向上のための改築更新

### 27年度の主な実績

#### ●浄水施設等の改築更新

- ・蹴上浄水場第1高区配水池<sup>\*3</sup>改良工事実施 など **b**

#### ●水環境保全センター及びポンプ場の改築更新

- ・鳥羽水環境保全センターB系最初ちんでん池設備工事の完了 など **b**

## ③ 水需要に応じた施設規模の適正化及び施設の再編成

### 27年度の主な実績

#### ●下水道処理における鳥羽・吉祥院処理区の統合

- ・朱雀1号幹線分水人孔築造工事の実施 (工事に係る占用許可物件の移設に時間を要したため、工程が出水期 (6月16日～10月15日) に重なり、工事開始を遅らせた。) **d**

#### ●浄水場排水の下水道での一体処理<sup>\*4</sup>化

- ・全浄水場の排水について、水環境保全センターにおける一体処理を実施 **a**

## ④ 京北地域水道及び大原地域水道の再整備

### 27年度の主な実績

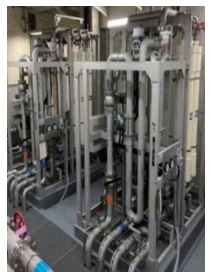
#### ●京北地域水道及び大原地域水道の再整備

- ・山国及び周山地区の配水管布設、周山配水池・加圧ポンプ所築造等の継続工事完了、余野連絡管等布設工事完了、大原地域水道の新設備による給水開始及び再整備事業の完了 など **a**



引き続き、京北地域水道の再整備及び中川・小野郷地域水道の整備を行い、平成28年度末までに全ての工事を完了します。

再整備事業により完成した大原第1浄水場膜ろ過設備



中期経営プラン  
(25～29年度)  
に対する進捗状況



平成27年度の単年度評価はB評価となりましたが、進捗に遅れが生じた一部の工事について、進捗管理を徹底することによりプランの目標水準を達成する見込みであることから、プランに対しては「順調に進捗」しています。

\*1 地域水道とは、給水人口が5,000人以下の水道のこと。

\*2 直接給水装置を取り付けるための配水管のうち、管網を形成せず行き止まりになっている口径25～75mmの管のこと。

\*3 配水する区域の水の需要量に応じて、適切に水を配るため、浄水場から送られた水道水を一時的に貯めておく施設のこと。

\*4 浄水場で発生する汚泥等を水環境保全センターで一元的に処理すること。排水処理施設の更新費用及び維持管理費用が削減できる。

# 重点項目② 災害対策の強化

27年度の  
単年度評価

**B**

水道管路の耐震化率等、一部の数値目標でわずかに目標達成となりませんでした。各整備工事についてはおおむね計画どおりの進捗であるため、B評価となりました。

## ① 地震等の災害に強い上下水道施設の整備

### 27年度の主な実績

#### ●上下水道管路・施設の耐震化の促進

- 水道管路の耐震化率 12.5% (目標 12.9%)、配水管及び補助配水管耐震化工事の実施、蹴上浄水場第1高区配水池改良工事の実施 など **b**
- 吉田・御池・花園連絡幹線配水管<sup>\*1</sup> 布設工事の実施 **b**
- 下水道管路地震対策率 76.9% (目標 76.9%)、経年管老朽化対策工事の実施、管路地震対策工事の実施【再掲】 など **b**
- 下水道施設継手部地震対策工事の実施、災害用マンホールトイレ<sup>\*2</sup> 設置のための管路地震対策工事の実施 など **b**

#### ●導水施設<sup>\*3</sup>の耐震化による安定した取水の確保

- 新山科浄水場導水トンネル築造実施設計の実施 など **b**

## ② 雨に強く安心できる浸水対策の推進

### 27年度の主な実績

#### ●地下街等を有する地区等の浸水対策

- 雨水整備率(10年確率降雨対応) 22.1% (目標 22.1%)、塩小路幹線、山科三条雨水幹線、花見小路幹線の各整備事業実施 **b**
- 河川整備等と連携した総合的な治水対策の推進(新川6号幹線事業の実施) **b**
- 雨に強いまちづくり推進計画に基づき、検討会等において大雨による災害について課題の検討を実施 など **b**
- 雨水貯留施設設置助成金制度 助成件数 133件 (目標 120件)、雨水浸透ます設置助成金制度 助成件数 195基 (目標 240基) など **a**



**雨水貯留施設** 住宅の屋根等に降った雨水を雨どいから集水し、タンク等に貯留する施設。雨水を「ためる」役割を果たし、雨水の流出抑制のほか、草花の水やりや打ち水等にも有効活用できる。

**雨水浸透ます** 住宅の屋根等に降った雨水を雨どいから集水し、地中に浸透させる施設。雨水を地中に「しみこませる」役割を果たし、雨水の流出抑制のほか、地下水の保全にも寄与する。

## ③ 災害・事故等危機時における迅速な対応

### 27年度の主な実績

#### ●危機管理対策の強化

- 上下水道局危機管理計画、上下水道局震災対策計画及び上下水道局地震対策応援受け入れマニュアルの修正、これらのマニュアルを基にした他都市との応急給水訓練の実施 など **a**

#### ●防災拠点の充実

- 緊急遮断弁を備えた応急給水槽を設置(南部営業所)、京都市総合防災訓練及び各区総合防災訓練を行行政局や各区役所等と連携のうえ実施 など **a**



応急給水訓練の様子

#### 《平成28年熊本地震に係る上下水道局の支援状況等について》

上下水道局では、平成28年熊本地震の被災地を支援するため、迅速に局職員延べ78名を被災地に派遣し、応急給水活動、水道給水管の応急復旧活動、下水道の被害状況調査、避難所の運営補助、家屋被害調査に従事するとともに、物資支援等を行いました。

中期経営プラン  
(25～29年度)  
に対する進捗状況



一部の数値目標でわずかに目標達成となりませんでした。耐震化や浸水対策に係る各整備工事についてはおおむね計画どおりの進捗であり、プランの目標水準を達成する見込みであることから、プランに対しては「順調に進捗」しています。

\*1 異なる給水区域の配水幹線をつなぐ水道管のことで、水道水の給水を融通し合うことができる。

\*2 多くの人が避難する避難所や広域避難場所に、下水道に直結した複数のマンホールを設置しておくことで、災害発生時にマンホール蓋を開けてトイレとして使用できるように整備された施設のこと。

\*3 水道水のもととなる原水を、浄水場まで運ぶトンネルや管のこと。京都市には、琵琶湖疏水から各浄水場、宇治川から新山科浄水場を結ぶ導水トンネルや導水管がある。



# 重点項目③ 環境対策の充実

27年度の  
単年度評価

A

下水の高度処理<sup>\*1</sup>、人口普及率や合流式下水道<sup>\*2</sup>改善率について数値目標を達成するとともに、太陽光発電設備の設置等についてもおおむね計画どおり実施できたため、A評価となりました。

## ① 市内河川と下流域の水環境を守る下水の高度処理の推進

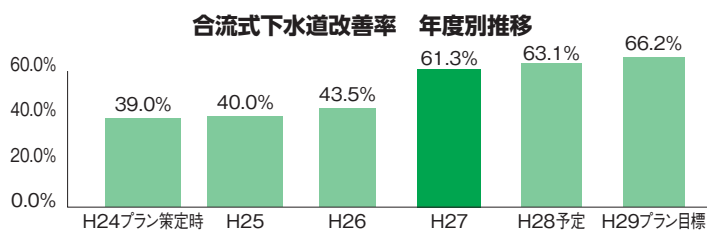
### 27年度の主な実績

#### ●下水の高度処理施設の段階的な整備

- 高度処理人口普及率 51.3% (目標 51.3%)、高度処理施設の整備 (鳥羽水環境保全センター反応タンク設備工事) の実施 など **a**

#### ●合流式下水道の改善

- 合流式下水道改善率 61.3% (目標 61.3%)、合流式下水道改善に係る工事の実施 (七条西幹線, 七条東幹線, 朱雀北幹線など) **a**
- 雨天時放流水質検査の実施, 伏見水環境保全センター合流改善施設の整備工事の実施 など **b**



### 合流式下水道改善率 (%)

$$= \frac{\text{合流式下水道改善済面積}}{\text{合流式区域面積}} \times 100$$

プランでは平成29年度までに合流式下水道改善率を66.2%にすることを目標としています。

## ② 環境保全の取組の推進

### 27年度の主な実績

#### ●再生可能エネルギーの利用拡大等による温室効果ガスの削減

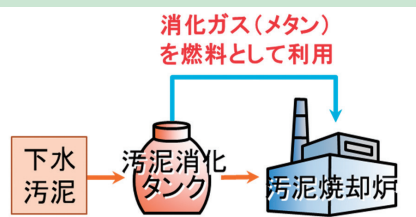
- 石田水環境保全センターの大規模太陽光発電設備発電開始
- 山科営業所 (28年度より東部営業所), 本庁舎 (別館) 及び大原第1浄水場の太陽光発電設備発電開始 **a**

#### ●資源循環の推進

- 鳥羽水環境保全センター汚泥濃縮・消化タンク築造工事の実施, 消化ガス<sup>\*3</sup>を汚泥焼却炉の燃料等に活用及び脱水汚泥等のセメント原料化を推進 **a**



石田水環境保全センターの大規模太陽光発電設備



### 《資源循環の推進(下水汚泥の有効活用)について》

下水汚泥を活用した再生可能エネルギーの利用拡大による資源循環の推進を図るため、鳥羽水環境保全センター消化タンク等の再整備工事を実施しています。再整備後の平成30年度からは、焼却炉で使用する燃料のすべてを賄うことが可能となり、燃料費及び温室効果ガス排出量の削減に大きく寄与します。

中期経営プラン  
(25~29年度)  
に対する進捗状況



各整備工事についてはおおむね計画どおり進捗し、数値目標についても着実に目標を達成しています。単年度評価は、平成25年度以降3年連続でA評価で推移していることから、プランに対しては「目標以上に達成」しています。

\*1 従来の処理方式と比べて、さらに良好な水質が得られる処理のこと。有機物をより多く除去したり、従来の処理方式では除去できない物質(窒素, リン等)を除去すること等が出来る。  
\*2 汚水と雨水を同一の管きよで集め、処理する下水道の方式。これに対し、汚水と雨水を別々の管きよで集める方式を「分流式下水道」という。合流式下水道では、雨天時に汚水の混じった雨水が雨水吐口から河川等へ放流されるため、改善対策を行っている。  
\*3 微生物の働きにより、汚泥中の有機物を分解する処理(消化)の副産物として発生するメタンを主成分としたガスのこと。

# 重点項目④ お客様満足度の向上

27年度の  
単年度評価

A

営業所の抜本的再編を計画どおり実施するとともに、お客様満足度向上に向けた各種施策や広報・広聴活動を積極的に推進したことにより、A評価となりました。

## ① お客様満足度の向上を目指した料金施策の推進

### 27年度の主な実績

#### ●今日の社会状況の変化に対応した料金制度・料金支払方法への見直し

- ・経営審議委員会から、地下水利用専用水道設置者の水道施設維持経費の負担の在り方についての意見書を收受 など a
- ・口座振替利用者を対象とした割引制度及びクレジットカード継続払い制度の周知（市民イベントにおいて制度のPR、市民しんぶんへの記事の掲載等） a
- ・開栓時の「水道便利袋」\*1 お渡しサービスの実施 37,484件 など a

#### 口座振替割引制度でお得に!

上下水道料金を口座振替でお支払いいただくお客様には、口座振替割引が適用されています。2箇月で88円を割引いたします。

- ・割引額は、水道メーター検針の際にお渡しする「水道使用量のお知らせ」で御案内しています。
- ・初回請求時に口座から引き落としができた場合に限りです。



#### クレジットカード継続払いで便利に!

上下水道料金のお支払いには、クレジットカード継続払い（あらかじめ御登録いただいたクレジットカードに請求するお支払い方法）を御利用いただけます。

- ・お申込みが必要です。
- ・クレジットカード継続払いを御利用の場合、口座振替割引制度は適用されません。

御利用可能ブランド  
VISA, Master, JCB  
DinersClub,  
AmericanExpress

## ② お客様が利用しやすい仕組みづくり

### 27年度の主な実績

#### ●お客様の利便性の向上

- ・ふれあいまつり等でのアンケート、営業所等における電話・インターネット等による現在の受付状況の集計及び分析の実施 など a

#### ●お客様が利用しやすい窓口づくり

- ・高齢のお客様等への対応研修を実施、区役所・支所への相談窓口の設置など新たなお客様サービスの検討会を開催 など a

## ③ 積極的に行動するサービスの充実

### 27年度の主な実績

- 上下水道局営業所の抜本的再編 北部営業所及び南部営業所開所（5月）、東部営業所開設について周知活動を実施 など a
- 出前トークや環境教育の充実 市内全小学4年生（一部3年生）への啓発物（リーフレット、クリアホルダー）の配布を実施 など a
- お客様訪問サービスの実施 はがき版クレジットカード継続払申込書の作製（28年度から「水道便利袋」に封入し、開栓時に配布） など a

## ④ 広報・広聴の充実と積極的な情報開示による事業の透明性の確保

### 27年度の主な実績

#### ●積極的な情報発信と分かりやすい情報開示等による広報機能の充実

- ・「おいしい!大好き!京(みやこ)の水キャンペーン」の実施、ミスト装置\*2 普及促進事業の実施 など a

#### ●お客様の声を反映するための広聴機能の充実

- ・鳥羽・蹴上一般公開でアンケートを実施、「平成27年度水に関する意識調査」の実施、分析 など a

「おいしい!大好き!京(みやこ)の水キャンペーン」(「京(みやこ)の水・利き水大作戦」の様子)



中期経営プラン  
(25~29年度)  
に対する進捗状況



目標以上に達成している。

お客様満足度向上に向けた各種施策や広報・広聴活動を積極的に推進するなど、単年度評価は、平成25年度以降3年連続でA評価で推移しており、プランに対しては「目標以上に達成」しています。

\*1 口座振替依頼書、クレジットカード継続払申込書、水道メモ（上下水道に関する手続きや料金等について掲載したパンフレット）、京都市上下水道局からのお知らせ（お支払方法の変更案内や悪質業者への注意喚起に関するチラシ）、京の水宣言（京都の水を「おいしい」「大好き」と宣言するためのチラシ）、及びマグネット（管轄の営業所等の連絡先を記載したもの）を封入したもの。

\*2 水道水を特殊なノズルで微細な霧にして噴出し、水を効果的に気化させ、その気化熱が周囲の熱を奪う現象を利用し、周辺気温を下げる装置のこと。



# 重点項目⑤ 経営基盤の強化

27年度の  
単年度評価

A

職員定数の削減や保有資産の有効活用のほか、「真のワーク・ライフ・バランス」に係る取組についても積極的に推進することで、A評価となりました。

## ① 経営環境の変化に対応した経営の効率化

27年度の主な実績

- 事業の効率化の推進 組織改正の実施、職員定数の削減（△49人） a
- 地域事業（山間地域の上下水道事業）の水道・公共下水道事業への統合
  - ・統合後の水道料金、加入金等、下水道使用料及び分担金等の取扱いについて方針決定 など b

## ② 持続可能な事業運営のための財務体質の強化

27年度の主な実績

- 企業債残高の削減 自己資金の活用による企業債の発行抑制 など a
- 未納金徴収体制の強化
  - ・営業所の特別滞納整理班とお客さまサービス推進室が連携し、滞納者の資産状況調査の方法を確立 a
- 保有資産の有効活用 「琵琶湖疏水通船復活」春及び秋の試行事業の実施、多角的な広告事業の実施 など a
- 上下水道サービスを持続していくための効率的な再投資
  - ・健全かつ安定的な事業運営を行えるよう、水道及び下水道施設等マネジメント基本計画（仮称）の原案作成 など b



### 《「琵琶湖疏水通船復活」について》

琵琶湖疏水の通船の復活は、明治期の先人たちが築き上げた貴重な産業遺産である琵琶湖疏水が市民生活や産業・文化を支えてきたという建設の意義を改めて認識いただくことや、琵琶湖疏水沿線の天津・山科・岡崎地域の更なる活性化の源となることに寄与する事業です。

平成26年12月には、通船復活を目指した「琵琶湖疏水船下り実行委員会」（事務局：京都市上下水道局）を立ち上げ、平成27年春には、関係機関からの多大な御協力を賜り、64年ぶりの通船復活が試行事業という形で実現しました。

## ③ 人材の育成や技術の継承・発展と国際貢献の推進

27年度の主な実績

- 人材活性化に向けた取組の強化 人材育成基本方針「企業力向上プラン」に掲げる27年度の項目の実践 など a
- 職員の意欲・やる気を引き出す取組の充実 職員提案件数108件（目標100件）、自主研修の支援（資料の閲覧） など a
- 職員の能力発揮のための職場環境の整備
  - ・次世代育成支援対策を推進するとともに、特定事業主行動計画「仕事とくらし きらめき スマイルプラン」を策定 など a
- 国際協力事業の推進と国際貢献を支える人材の育成
  - ・海外研修生の受入れ（水道・下水道施設で延べ19箇国187名） など a
- 知識・経験や技術・技能の継承
  - ・各職場におけるナレッジマネジメント（個人の知識・技術（ナレッジ）を職場で共有し、ノウハウとして蓄積していく手法）の運用及びフォローアップ調査の実施 など a



インド・バラナシ市訪問団による視察 JICA 課題別研修「水道施設技術総合」

中期経営プラン  
(25～29年度)  
に対する進捗状況



「第5期効率化推進計画」及び「財政基盤強化計画」に基づく各種取組を着実に推進することで、単年度評価は、平成25年度以降3年連続でA評価で推移しており、プランに対しては「順調に進捗」しています。

### 《今後に向けて》

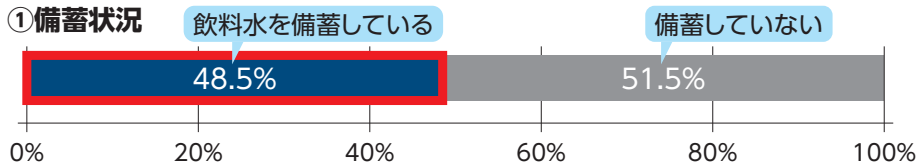
産業構造の変化、節水型社会の定着によって、本市の水需要は減少傾向にあり、水道事業、公共下水道事業の経営環境は、引き続き厳しい状況にあります。今後より一層効率的・効果的な事業運営を進めるとともに、平成30年度以降の新たな経営ビジョンの検討を進めます。



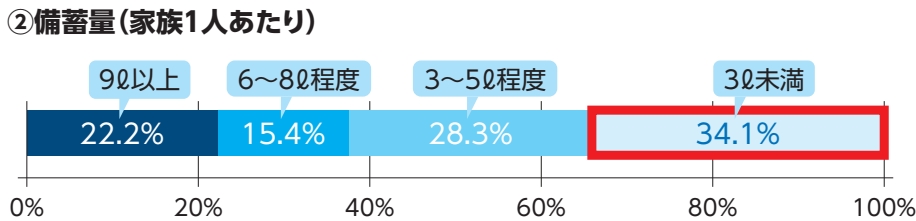
## 平成27年度 水に関する意識調査について



### 災害時の備蓄状況について



・飲料水の備蓄状況について、**備蓄している割合は48.5%**でした。(近畿地方では平均以上)  
 ・備蓄していても、家族1人あたりの備蓄量が**3リットル未満である世帯が3分の1**を占めました。



災害時には、**1人1日最低3リットル**の飲料水が必要だと言われています。

御家庭でも**家族の人数の3日分**を目安に飲料水を確保しましょう。

(例) 4人家族なら、少なくとも…  $3\ell \times 4人 \times 3日 = 36\ell$



### 水道水を使った飲料水の保存方法

- 水道水はフタのできる容器(ペットボトルやポリタンクなど)で十分に洗った清潔な容器に保存しましょう。
- 容器内部に空気が残らないように水道水を口元いっぱいまで入れて、しっかりとふたをしましょう。
- 浄水器を通した水は、塩素による消毒効果がなくなっている可能性がありますので、じゃ口から直接注ぎましょう。
- 直射日光の当たらないすずしい場所に保管すると、約3日間保存できます。
- 保存期間が過ぎたらお花の水やりや打ち水などに使用しましょう。



### 「京の水道 疏水物語」で災害に備えよう!

災害用備蓄飲料水「京の水道 疏水物語」は、御家庭での飲料水備蓄に役立てていただけるよう、京都市が誇るおいしい水道水を、ろ過・加熱処理し、アルミボトルに詰めたものです。

- ・製造後、常温・未開封で5年間保存が可能です。
- ・「疏水物語」1ケースで4人家族が災害発生時に必要といわれている飲料水の1日分に相当します。(490ml / 本×24本)
- ・ケース24本入 2,400円(税込) / 1本当たり100円(税込)
- ・最寄りの上下水道局の各営業所、本庁舎お客さま窓口サービスコーナーにてケース単位で販売。また、市役所本庁舎、上下水道局本庁舎前、琵琶湖疏水記念館、地下鉄烏丸御池駅構内に設置の自動販売機にて1本単位で販売。



「平成27年度 水に関する意識調査」の詳細(報告書)は上下水道局ホームページで御覧いただけます。

●より詳しい経営評価結果は、[上下水道局ホームページ](http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/)又は市情報公開コーナー等で本冊を御覧ください。

ホームページアドレス <http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/>

京都市水道事業・公共下水道事業経営評価 [検索](#)

平成28年度 京都市水道事業・公共下水道事業 経営評価(平成27年度事業)

平成28年9月発行

京都市上下水道局 総務部経営企画課 〒601-8004 京都市南区東九条東山王町12番地 TEL 075-672-7709 FAX 075-682-2711

すみと  
**澄都くんのつぶやき**  
京都市上下水道局公式ツイッター  
水道・下水道事業の情報を発信!  
フォローしてね♪ @sumito\_kyoto

すみと  
**澄都くんのfacebook**  
京都市上下水道局公式フェイスブック  
「いいね!」してね!  
すみとFacebook

水道水で **花** いっぱい  
緑 ippai の **京都** に